

令和 8 年度 第 1 回	八 潮 市 下 水 道 事 業 審 議 会 議 事 録		
開催日時	令和 8 年 7 月 14 日 午 前 10 時 00 分 から 11 時 40 分 まで	開催場所	八 潮 市 役 所 大 会 議 室
出席者	秋山 隆、宇田川 幸夫、大沢 昌玄、小倉 峯子、北嶋 初江、後藤 涼子、鈴木 孝一、田中 恵子、種家 宗利、 中嶋 義一、晝間 正彦		
欠席者	臼倉 明久、藤方 京子、最川 幸子		
事務局	田口建設部長、武田副部長兼下水道課長、三宮副課長兼計画・工務係長、吉本業務係長、茂木管理係長、 三ツ間主任、山口主任、松本主事		
公開・非公開の別	公開		
傍聴者数	0人		

	議 事 名		内 容	
議 事 進 行 状 況	1	開 会	事務局	
				10:00～ 定刻に開会
	2	市長あいさつ	市 長	あいさつ
	3	自己紹介	各委員・事務局	委員自己紹介
				職員自己紹介
	4	会長、副会長の選出	事務局	互選による会長、副会長の選出
				大沢委員が会長に決定
				宇田川委員が副会長に決定
	5	会長あいさつ	会長	あいさつ
	6	諮問	市 長	下水道使用料の見直しについて
	7	議事 （１）下水道の役割 質疑応答 （２）八潮市下水道事業の概要 質疑応答	事務局	
				資料に基づき説明
				なし
			事務局	
				資料に基づき説明
				資料11ページの下水道MAPについて、下水道を整備したが使用されておらず、老朽化している管はあるか。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況	事務局	基本的に、整備した下水道（汚水）管は使用している。下水道整備後は、1年以内に告示し、使用できる状態にしている。
	委員	下水道MAPについて、西袋の綾瀬川西側区域の下水道整備予定はどうなっているか。
	事務局	現状は認可地区内を優先して整備を進めている。優先順位として、西上区画整理地内や調整区域については、認可地区の次の順番となる。
	会長	下水道MAPについて、都市計画決定区域や認可区域がわかるよう、市域全体を映したものにできないか。併せて整備地区、未整備地区についてもわかるように提示してほしい。
	委員	陥没事故の影響で今後、複線化に伴う流域下水道維持管理負担金の値上げが懸念されるところだが、事故の発生現場となった八潮市は陥没事故に対応する工事等で市民生活に多大なる影響を受けている。他の流域自治体よりも負担金の上げ幅を抑えてもらうよう、市から県へ要望してほしい。
	事務局	22メートル道路の北側車線の地下に県の流域下水道管が埋設されているが、現在検討されている複線化は、22メートル道路のは南側車線に埋設されることが検討されている。ご意見については、県に伝えていく。
	副会長	補足となるが、復旧費用として、約330億円がかかったが、全て国と県で費用負担し、市への負担をゼロにしている。複線化については、国が推進しており、まず八潮市で取り組んでいかなければならないと考えている。複線化に必要な費用の補助金等を市に有利となるように国にかけあっていきたい。
	委員	15ページについて、ポンプ場の設置から30～42年が経過しているが、標準耐用年数が15～20年程度である機械・電気設備について、これまでどのように対応してきたか。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況	事務局	ポンプ場の施設については、電気関係の点検を毎年実施しているとともに、耐震補強が必要かどうかについて
		も確認している。ストックマネジメント計画として、所有する下水道施設を効率的かつ経済的に、修繕・改築
		していく計画を策定しているため、計画に沿って適切に施設を管理していく。耐用年数は、施設の平均的な寿
	会長	命を示すものであり、計画的に点検や修繕することで延命することができる。どの施設も設置後３０年以上経
		過しつつも、大規模な改築は行っていないが、点検の結果を受け、耐用年数を延命することができていると考
		えている。今後についても、点検をもとに延命しつつ、必要がある場合には改築を行っていきたいと考えてい
	事務局	る。
	会長	首都直下地震が発生した場合、液状化によりマンホールが浮上して下水道管が曲がってしまうと汚水が流れな
		くなることが考えられる。布設後５０年以上経過した管渠の耐震化対策は進んでいるか。
	事務局	管渠についてもストックマネジメント計画に位置付けられており、マンホールの浮上防止やマンホールと管渠
		の接続口に耐震性をもたせるため、耐震性に優れた管に交換するなどの取組を行っている。管渠の耐用年数は
		50年であるが、５年ごとや10年ごとに定期的な点検を行いながら、適切に延命、耐震補強、改築などを進めて
	会長	いく。
	事務局	全体の何割が耐震化となっているか。耐震化を行ううえでの優先順位（例：避難所の近くを優先している 等）
		について示してほしい。
	副会長	次回ご提示させていただく。
	会長	耐震化の計画を次回の審議会で示してほしい。
	会長	災害があっても市民生活が継続でき、持続可能な下水道施設であることが重要である。策定済みの計画につい
		ては提示してほしい。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況	(3) 八潮市下水道事業の経営状況 質疑応答	事務局
		資料に基づき説明
		委員
		22ページについて、雨水処理と汚水処理の一般会計からの繰入金額をそれぞれ教えてほしい。
		事務局
		令和7年度の決算値では、雨水処理に要する経費等の基準内繰入金として約7,300万円、建設に係る経費の基準内繰入金として約3,100万円を一般会計から繰入れている。
		このほか、下水道事業全体で、基準外繰入金として約9億円を繰入れている。
		会長
		公費で負担すべき雨水処理費と、受益者が負担すべき汚水処理費の不足分を、それぞれ一般会計からいくら繰入れているか、年度ごとの推移も含めて次回示してほしい。
		汚水処理に係る税負担を減らしていくにあたり、使用料で本来どれだけの費用を負担しなければならないのかという点が重要になる。
		事務局
		次回ご提示させていただく。
		副会長
		基準外繰入金の内容は何か。
		事務局
		主に、企業債の償還金に基準外繰入金を充てている。
		会長
		下水道使用料で賄うべき経費に対して多額の税金を充ててしまっていることが、今後下水道使用料を上げざるを得ない重要な理由であるので、分かりやすい資料をご準備いただきたい。
		委員
		陥没事故の後、戸田の荒川水循環センターへ視察研修に行き、下水道の重要性を再認識するとともに、下水道の使い方に工夫が必要だということを理解した。
		八潮市でも、やしお市民まつりなどで下水道啓発の展示をすると良いと思う。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況	事務局	また、水道と下水は一緒に料金が徴収されているが、収納率はどうなっているか。
		下水道啓発については、やしお市民まつりや八潮夜市、市役所の展示スペース等で行っている。今後も機会を捉えて周知、啓発を続けていきたい。
		下水道使用料の収納率は、令和7年度は94%程度であり、過去3年遡っても94%程度で推移している。（いずれも3月31日時点）
		国で示す使用料水準150円の根拠については、勉強していかなければいけないと思っている。
		27ページの八潮市の使用料単価の変遷を見ると、下水道事業の会計に多くの税金が投入されている状態で、受益者負担や独立採算の原則の観点からも望ましくないため、改善していく必要があると思う。
		接続率（水洗化率）はどのくらいか。
		令和7年度末現在で90.1%である。
		下水道を整備済みであっても、接続していないと使用料収入の確保につながらない。本来は必ず接続しなければならないが、接続していない方はどういった理由によるのか。
		下水道管は市の方で整備するが、宅内への接続は個人負担になり、30万円前後の費用が発生する。そのため、例えば年金生活の高齢者等は、すぐに接続できない状況がある。そのような方は売買などのタイミングで接続したりするが、各家庭の事情ですぐに繋げない方もいるのが現状である。
		本日示された普及率や接続率など、様々な数値を次回改めてお示しいただきたい。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況	委員	汚水処理原価144.06円及び使用料単価109.40円は、近隣の市町村に比べて高いのか。
		また、陥没事故を受けて行っている調査点検の進捗状況と、腐食の恐れが高い箇所公表の有無を教えてください。
	事務局	令和6年度の決算値で、汚水処理原価については、中川流域下水道の関連15市町のうち、八潮市は上から7番目、下から9番目である。汚水処理原価が高い理由については、次回ご提示させていただく。
		下水道使用料単価については、上から10番目、下から6番目である。自治体によって経営状況が異なるので、使用料単価は自治体によって幅がある。
	事務局	調査点検の詳細に関しては、ストックマネジメントに関連する部分があるので、また次回以降にご提示させていただく。調査点検については市の下水道管に関して5ヶ年の計画が動いており、令和7年度から令和11年度の間で、管路の特に腐食しそうな部分等を重点的にピックアップし、目視点検やカメラ調査を計画している。
		こちらの5ヶ年計画では、概ね7.6kmぐらいの調査点検を予定している。
	会長	県の所管する流域下水道と、八潮市の所管する公共下水道の話があるが、市民の皆様には両者の違いがわからないと思うので、八潮市の陥没事故の発生原因は流域下水道にあるということも含め、それぞれ分けて説明できるとよい。
	事務局	埼玉県と八潮市の管理区分について、情報を整理してご提示していく。
	会長	市の管渠は非常に小さく細かいため、管理が大変というような課題もあると思うので、そのことについても示せるとよい。
	会長	今日は市長から諮問を受け、第1回目の審議会ということで、下水道事業の実態を事務局からご説明いただき、不明な点を質問させていただいた。次回以降は具体的に、細かい内容や本日の質問に対する回答をお示しいた

[illegible]